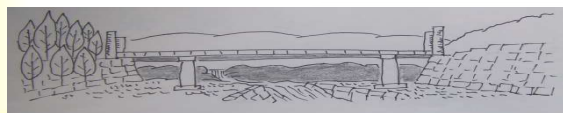


# まゆだま

2011. 6. 発行  
No. 347



連絡先：高田（榎原小学校）  
東京歴教協 八王子支部

～ 震災から3ヶ月目の6/11土曜日。放射能と電力の問題は今後も予断を許さない状態ですが、そんな梅雨の合間の雨上がりの高尾で6月例会が行われました。～

## 6月の例会報告：「地域とつながる3年生」

報告者の井手さんは、教師歴が20年以上のベテランですが、今まで3年生の地図学習などは、学校の敷地内で行っていて、なかなか外に出ることがありませんでした。教員の異動が少ない私立小学校ですが、長年、地域を教材として扱うこともなかったのです。そのような学校文化が長く続いていて、井手さんは「このままではいけない」と新人の先生と組んだ2010年に、思い切って外に出ることにしたのです。

さて、初めの地域実践は手探り状態でしたが、どうなったのでしょうか？

- ①5月「拝島大師」の見学
- ②5月「屋上から学校の周りを見る」
- ③6月「地域巡り」
- ④7月「地域の人と拝島を歩く」
- ⑤9月「地域の踊りを運動会で踊る」
- ⑥10～11月「お店調べ」
- ⑦2月「民具室見学」



### <実践をふりかえって>

A：子ども達の成長と変化

- ①地域の人との出会い・・・地域に愛着を持って生活している人を知る
- ②発見する力・・・自分の足で歩き、自分の目で見ることの楽しさを知る
- ③発表する意味・・・友達、親に伝える意欲が出てくる。

B：私立小学校の子ども達にとっての地域とは

自分の学校の周りを知ること、地域とは生活の場であることを知る。そのことは、自分の住んでいる家の周りをとらえる視点を養うことになるのでは。



### <報告者&参加者による質疑応答・意見交換・感想>

- .....
- Q. 自分の住んでいない所を「地域」と呼んで学習教材とするのですが、私立学校はそうはいかないという難しさを感じた。高学年の社会科見学のようなイメージなのかな。自分の住んでいる地域とどう結びつけて考えているのですか？
- A. 子ども達は3年生で初めて学校の外に出るので、すぐにイメージは湧かないです。
- Q. 啓明学園は、今まで地域とどうつながっていたのですか？
- A. 地元の人にとっては、敷居が高くて入れないというイメージ。(つながってない)
- Q. 最初の地図を渡すタイミングはどうだったのか？自分が住んでいない(土地勘が無い)子ども達に地図を渡すのは難しいと思いますが。地図にとらわれすぎ？
- A. それは、まさに今日の例会で教えていただきたい課題です。
- ☆☆うん、それはちょっと課題でしょう。新聞形式でまとめるという報告でしたが、地域学習と地図学習は順番が大事です。いろいろ調べる前に、1本の道を中心にして地域と地図をつなげてというような、子どもがわかりやすい作業をしてからの方がいいと思うのです。この道は、東西に通っていて、寺社が南北にあるからこの地域というのは、実は子どもには理解しやすいと思います。
- ☆☆今年、自分は3年生の担任ですが、今のお話のように何かを中心にしてクイズ形式のようにして、子どもに地域に対して興味を持たせたいと思います。
- Q. 地図指導では方位磁針で確認できる子どもは半分くらいしかいないのですが、どうしたらより効果的にとらえてもらえるのでしょうか？
- A. 最初から東西南北の入った地図を描かせるのではなく、1学期は東西、2学期は南北、3学期は地図記号で記入といった段階的指導がよいのではないかな。
- A. 公立小学校では住んでいる(通っている)道からでもいいけど、私立学校は通学手段としての鉄道やバス路線といった体験から導くような展開はいかがでしょう。例えば、私立ならではで、4年生の東京都の学習とからませるのもいいのでは。
- ☆☆3年生の地図学習は、「地図を描けること」が大切なのではなく、その前に地図から情報を読み取る力、地図を使えるようにする力を子ども達に育てることが大切なのではないかと考える。
- ☆☆私も公立では子ども達は地図をナビのように傾けていた。3年生にはそのズレを感じさせることができればいいのか。固定された方角が無いと、人によって見え方が違うということを感じさせることが大切なのではないかなと思う。教師が事前にいくつかの情報を書き込んでおいて、それから子どもに渡すというような段階が大切ではないかな。昔は低学年で社会科があったので、校舎内などで位置関係を学んできたが、今はそういうことをしないでいきなり3年生で地図を学ぶ。ハードルが高くなっていると思う。1年間かけてできるようになればいいと考えるのがいいのでは。この地図はかなり難しいし、先生との共同作業のような感じがする。3年生には何を求めるのか？そこを見極めることが大切。3年生のはじめにはめちゃくちゃでも描かせて、授業で学んだあと、その後また同じ作業をして個々の成長を比較できるような展開がいいのではないかな。(目に見える成長)
- ☆☆お店調べについては、翌年につながるような取り組みをすることが大切でしょう。でも私立小学校の子どもは逆に普段知らないから、新鮮に質問できたり聞こうとできるというメリットもあるのかもしれない。あまり私立小学校だからと尻込みせずに堂々と地域に出て行くのがいいと感じます。また、地域を歩いて得た知識をしっかりとまとめて、高学年の産業学習や歴史学習へつながる資料としておくといいでしょう。3年生の学習は6年生の歴史学習につながるということです。

## 例会に参加した皆さんの感想

- 啓明学園という私立小学校で、地域学習を取り扱うことは、そこで暮らしていない子ども達にとって新鮮であったと思います。一緒に地域巡りに参加して下さった保護者の方の感想を読んでも、子ども達と同じように感動していることがわかりました。昭島という土地で、昔からの物事をいろいろ発見する子どもの姿が見えて良かったです。今日は、有り難うございました。
- 自分も勤務校の周辺を全く知りませんでした。やはり地域の方々との出会いの大切さを強く感じるとともに、この3年生達が羨ましいなと思いました。
- 私立の学校でも地域を巡ると地元の人達から評価されます。私立学校での斬新な取り組みを今後も続けて下さい。報告にあった、地域の自転車屋さんが朝6時に店を開ける理由を聞いた子どもは、心に残ったでしょうね。
- 3年生の久しぶりの実践報告が懐かしかったです。地域は歩けば歩くほど、新しい発見があります。このレポート読んでいる私も拝島町の歴史と地理を垣間見ることが出来ました。子ども達も先生もよく頑張っているなと思いました。また、レポートに写真をふんだんに取り入れ、パソコンを縦横無尽に駆使しているのを見て羨ましい限りです。今日は、御苦労様でした。
- 自分も地域学習をせず育てたので、いつか子ども達と行ってみたいなと思いました。社会の勉強を通して、何を教えてどのようなことができるようになってほしいのかを、段階を踏んで教えていくことの大切さを学びました。
- 「地図を描く」これを小・中・高・大・保護者と追いかけていくと、人はどう周りの「世界」を認識してゆくか(逆にゆがんでゆくか?)が分かります。「6歳から80歳くらいまで人はどんな地図を描いてゆくか」を歴教協で調べて(そんな事が可能な団体)今後、本にするのも面白いかもしれません。
- 3年生でスタートする社会科について、丁寧にスタートし、子どもの実態に合わせてじっくり育てている先生方のお話が聞けて、本当に良い勉強になりました。「1本の道の地図」から、「東西南北が本格的な地図」に向けて、子どもの試行錯誤を大切にしながら授業を進めて行けばよい、ということに納得しました。今日は、貴重な学びのチャンスを有り難うございました。
- 井出先生の報告を聞き、改めて地域学習の魅力を感じました。好奇心旺盛な3年生が自分の足と目と耳をフルに使って、新たな発見と確かめを深めていった1年間の歩み。この中には子どもたちの学ぶ喜びや驚き、新たな知識の数々、そして地域に暮らす人たちの生活への関心も育てられたことでしょう。なによりも、教師自身が多くの事を学びながら意欲的に授業を進めていったこと。井出実践には、学びとは何か、指導とは何か、という授業の本質的が語られていると思いました。今年度の実践を、次の3年生に是非つなげてほしいです。



最後に、今3年生を持つ先生に今日の例会を聞いてどう感じたかを聞いてみました。司会からいきなり振られてびっくりしていましたが、地図の学習や、お店調べの授業についての思いを答えていました。こうして明日の授業のこと、教材の考え方を学ぶことができるのが、例会の大きな意味ではないでしょうか。教師1年目から生きた教材で学ぶ、先輩方の実践(成功も失敗も)を聞くことで、より教師としての「視野」が広がっていくでしょう。参加した若い先生方、良い先生になって下さいね。



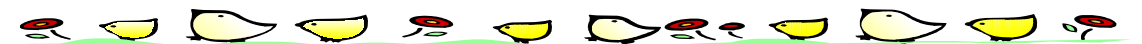
## <八王子宿 歴史散歩>



「新町竹の鼻の一里塚」  
 「一里塚(いちりづか)」とは、江戸時代に街道の距離を知る目安として、一里(4km)ごとに、道の両側に築かれた塚のことをいう。  
 江戸幕府は、1604年(慶長9年)に、日本橋を起点にして、東海・東北・北陸道に一里塚を築き、その後、各地の主要街道へも同じように築かせた。  
 塚の大きさは9m四方で、「榎(えのき)」の木が植えられていたと伝えられている。  
 八王子宿の東の入口、ここ新町竹の鼻地域にある一里塚は、日本橋から12里(約48km)の距離にあり、八王子宿に到着した旅人が、ほっとして榎の木陰で一休みしたことだろう。  
 現在、一里塚はここ以外にも、横山支所にそれらしいものがあると言われているが、ほとんど残っていない状態である。(画・文:栗原さん)

## — 7月例会のご案内 —

### 7月例会：「小学校の実践報告／公民館の社会教育」



日時：2011年7月2日(土) 14:00~16:30頃  
 場所：浅川市民センター (JR高尾駅北口徒歩8分)

※浅川市民センターは工事の為、9月例会からは「台町市民センター」になります。

報告者：①小学校の実践報告：若手教師2名による報告を予定  
 ②公民館の社会教育：樋口俊子さん(八王子支部会員)

内容：7月例会は授業の実践報告と社会教育の2本立てでお送りします。  
 学校の先生方はもちろん、一般市民の方の参加もお待ちしております。